

## 目次

1. News
2. 活動成果と計画
3. 目標達成進捗
4. ポスドク紹介
5. センター・メモ

## News

## 平成 26 年度に向けて

4 事業年度目を迎えるにあたり、中間審査での指導に基づき、運営方法の見直しや体制整備の強化などを行うよう準備を進めています。あわせて、ポストドクターの採用を進め、産業界への就職意欲の高い人たちが選抜されてきています。期待とご支援をお願い致します。



9 月の PD 選抜面接

## 3Q 活動成果

- **センター会議** (10/25、11/22、12/20)  
平成 26 年度の事業計画、および講義計画（カリキュラム内容、担当講師等）を審議致しました。
- **中間審査会** (10/29)  
文部科学省と外部委員による本事業の実施状況の審査が行われました。目標に対する達成度と、本事業終了後の定着化への取組みが評価され期待と好感を頂きました。
- **博士キャリアパス開発シンポジウム** (11/18)  
学内外合わせて 243 名と多くの方のご参加を頂き無事開催することができました。（センター memo をご参照ください）
- **平成 26 年度 PD2 次募集** (12/2~1/15)  
現在、平成 26 年度本事業へ参加する非常勤研究員の第 2 次公募中です。

## 4Q 活動計画

- ◆ **PD2 次募集選抜面接** (1/22)  
平成 26 年度非常勤研究員候補者を、面接審査により選抜します。
- ◆ **運営委員会** (1/24)  
平成 26 年度の事業計画と 2 次募集採用者選考の審議を予定しています。
- ◆ **センター会議** (1/24、2/28、3/28)  
合同企業説明会やマッチング会を企画します。また、インターンシップ受入企業とポスドクからのアンケートに基づいて、本年度実績に対する自己評価を行う予定です。
- ◆ **合同企業説明会** (3/3~3/7)  
平成 26 年度の本事業参加 PD のほか、学部生や院生の 27 年 3 月卒業生を対象に、多くの企業の方より会社説明を行って頂きます。



昨年の状況

## 目標達成進捗

目標と実績（平成 26 年 1 月 6 日現在）

区分		1 年目 (H23)	2 年目 (H24)	3 年目 (H25)	4 年目 (H26)	5 年目 (H27)
採用者 (養成者)	目標	6	6	6	6	6
	実績	3	7	6		
インターン シップ	目標	6	6	6	6	6
	実績	3	6	7		
就職者 (内定含む)	目標	3	4	5	6	6
	実績	3	5	4		
賛同企業 (累積数)	目標	(18)	(35)	50	(65)	80
	実績	36	65	80		



本年度は、3 年目も、順調に推移しております。皆様のご協力に感謝致します。

## ポストドク紹介

## じっくりとインターンシップに取り組む中！

化学合成の専門性を活かして化学メーカーでインターンシップ中です。少し時間を必要とする研究テーマであるため、最初から長めの期間設定をして、研究に没頭する機会を頂いています。徐々にコツを掴んできて、研究が楽しくなってきたところです。企業の方からは、「本格的な合成のわかる人に恵まれ、将来の事業拡大への期待もわいてきた。」とおっしゃって戴いています。まずは、インターンシップでの一定の区切りと成果を求めて進めています。



白川 瑛規

群馬大学大学院工学研究科

博士後期課程（物質創製工学領域）出身

## センター・Memo

## 博士キャリアパス開発シンポジウム 2013 開催！

平成 25 年 11 月 18 日、群馬大学桐生キャンパス大講義室にて、企業の皆さんや研究機関・大学の教職員から学生まで幅広い方々 243 名のご参加を頂き、表記のシンポジウムを開催いたしました。

はじめに文科省人材政策課和田課長よりの博士人材養成に関する各種取り組みを紹介頂きました。また、日経 BP 宮田氏より、「日本を再生する博士人材の養成 大学と企業の役割」と題して非常に示唆的なお話しを頂きました。本事業先輩校の大阪府立大学松井先生、JST 仲 PO より、本事業の目指す姿を示唆頂きました。さらに、インターンシップ受入企業と本事業 OB より体験談を頂くなど盛り沢山の内容でした。本事業の今後の展開に対して大いに参考になりました。



文科省和田課長よりの来賓挨拶



日経 BP 宮田氏による基調講演